

センチネルワン A (S)

【セクター】 サイバーセキュリティ

【市場】 NYSE

【企業概要】

カリフォルニア州に本社があるサイバーセキュリティ会社です。2013年に設立されました。外部及び内部のソースからリアルタイムに数多くのデータを取得し、関連付け、クエリを実行します。ビジネスモデルはシンギュラリティープラットフォーム（AI活用のセキュリティプラットフォーム）のサブスクリプションです。2023年1月期の地域別売上高比率は米国が65%、海外35%です。また、チャネルパートナーが90%、直販が10%です。従業員数は2100人強です（2023年1月末）。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

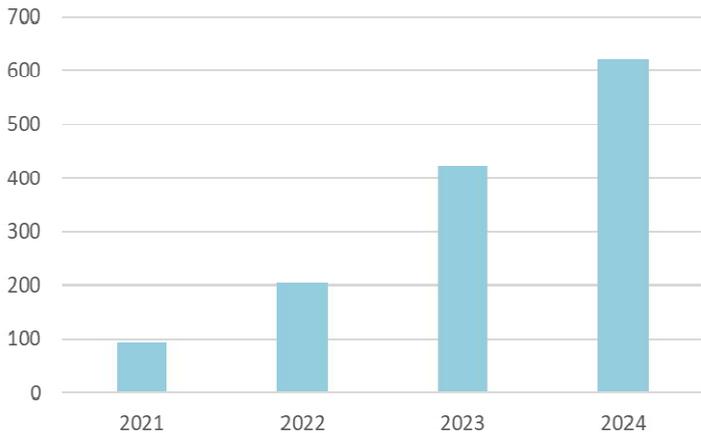
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
23.1期	422	-195	-0.70	0.00	5.8	-22.9	73.3
24.1期	621	-81	-0.28	0.00	6.4	-20.8	68.7
25.1期（予）	817	14	0.04	0.00	5.1	0.5	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）会社資料、BloombergのデータよりSBI証券作成

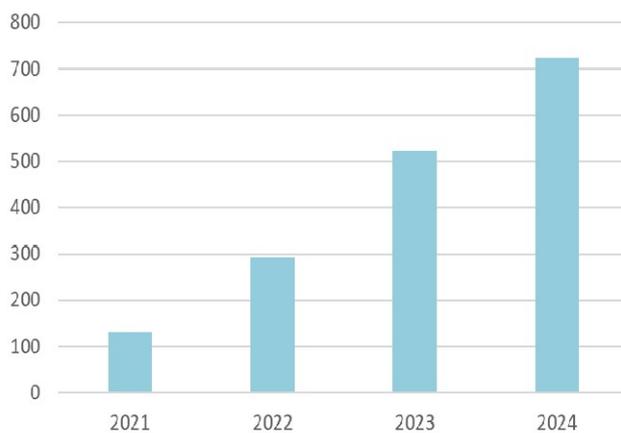
【主要指標】

売上高（百万ドル）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

ARR（年間定期収益、百万ドル、1月末時点）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

同社のシンギュラリティープラットフォームは様々な業種、様々な規模の機関において世界中で使用されています。2023年1月末時点で顧客数は1万を超えており、2022年1月末の6700強から増加しています。損益面では積極的な投資で赤字が続いています。エンドポイントセキュリティ分野ではクラウド ストライク ホールディングス A（CRWD）等、ネットワークセキュリティ分野ではパロ アルト ネットワークス（PANW）等と競合しています。

【見通し・注目点】

2023年11月-24年1月期は売上高が前年比38%増の1.7億ドルとなり市場予想を上回りました。EPSは0.02ドルの赤字ですが前年同期（0.13ドルの赤字）から赤字が縮小し、また、市場予想よりも小幅でした。なお、10四半期連続で調整後営業損益率が前年比で25%pts以上改善しており、収益性が向上しています。同社CEOは「企業顧客はエンドポイント、データ、クラウド・セキュリティにおいて記録的なペースで当社を選択している」とコメント。一方、2024年1月末時点において年間定期収益で10万ドル以上の顧客は同30%増の1133、継続率は約115%となり、いずれも市場予想を下回りました。会社側の2025年1月期見通しは売上高が8.12億ドル～8.18億ドル、調整後営業損益率が-6%～-2%でいずれも中央値が市場予想よりも軟調でした。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。